

国語科 小学校 2年

単元名 お話を読んで、かんそうを
書こう
「スイミー」
光村図書「こくご二上」

単元の流れ（全16時間）

第1次【第1時～第3時】

主な学習内容

- ◇第1時 「おすすめの本の会」（紹介カードと音読）を開くことを知る。初発の感想を書く。
- ◇第2時 初発の感想を聞き合う。
- ◇第3時 音読の練習の進め方を自分たちで考える。

第2次【第4時～第12時】

主な学習内容

- ◇第4・5時 1場面のスイミーの様子は、どの言葉や文から分かるかを交流する。その後、各自ノートに叙述を基に想像したことを書きながら読む。
- ◇第6時 2場面で大事な言葉に線を引き、マグロにおそわれたスイミーの様子について交流し、音読する。
- ◇第7時 3～4場面を学習課題にそって、各自ノートに叙述を基に想像したことを書きながら読む。
- ◇第8時 3場面の「元気を取り戻すスイミーの様子」を交流し、音読する。
- ◇第9時（本時） 4場面の「スイミーたちの様子」を交流し、音読する。
- ◇第10時 5場面の、「自由を得たスイミーたちの様子」を交流し、音読する。
- ◇第11時 音読を録音してたがいに聞き合う。
- ◇第12時 題名に着目して考え、学習の振り返りをする。

「活用」の育成のために

場面の様子について、登場人物の行動をもとに想像したことを発表したり、音読を聞き合ったりする。

評価問題

第3次【第13時～16時】

主な学習内容

友だちに紹介したい本を選び、「紹介カード」と「音読」（すきなところ）で紹介する。

「活用」の育成のために

教科書から本の紹介カードの書き方の要素を知り、それに合わせて自分の選んだ本の紹介文が書けるようにする。第2次で学習したことを生かして、すきな場所を音読する。

単元目標

- 登場人物の行動や場面の様子を想像しながら読んだり、声に出して読んだりして、物語を楽しむ。

単元構成の意図

体言止めや倒置法、比喩などの表現上の特色を生かして読み取らせ、言葉への感覚を高めさせたい。

また、文章の詩的な特徴を生かしてイメージ豊かに音読させるとともに、スイミーの視点で読み進めることで、お話の世界に十分浸ることができるようにさせたい。

さらに、いろいろなお話や絵本を読むきっかけになるよう、本の紹介をし合う活動を設定し、よりいっそう読書の幅を広げさせたい。

「活用」の力を育てる ポイント

- ① 「自分の選んだ本を紹介する」という学習のめあてを明確に持たせ、学習を進める。
- ② 想像を広げながら読んだことを伝えたり、友達の考えを聞いたりさせる。
- ③ 文章の内容と経験とを結び付けて自分の思いや考えを発表し合えるようにする。
- ④ 毎時間ごとの目標を明確にし、目標に沿って振り返らせる。
- ⑤ 作品の表現の工夫にふれさせ、言葉の感覚を豊かにさせる。
- ⑥ 第2次で学んだ音読の工夫を本の紹介に生かす。

HOME

本時の流れへ

授業展開例へ